

令和元年度「G K P 広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 沖縄県 土木建築部 下水道課	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 渡慶次 麻衣子（とけし まいこ）
代表者氏名 沖縄県 土木建築部 下水道課長 渡真利 昌弘	沖縄県下水道課公共班 TEL : 098-866-2248 MAIL : aa069001@pref.okinawa.lg.jp

部門名 行政 部門	事例名 ホンモノのマンホールが当たる！？沖縄県下水道マンホールスタンプラリー2018
---------------------	---

事例の概要

沖縄県は、身近なマンホールから下水道へ興味を持ってもらうため、県内21市町村と協力し、8月1日から8月31日まで、マンホールスタンプラリーを開催した。県内各地にデザインマンホールのスタンプを設置し、集めたスタンプの数に応じて、オリジナルグッズをプレゼントした。

スタンプ1個でもらえるクリアファイルを500枚準備したが、10日でほぼ配布し終えるなど、多くの方に参加いただいた。また、飛行機や船でしか行けない離島が3カ所あるにも関わらず、スタンプ15個以上を集めた参加者が156名、全22個のスタンプを集めた参加者が10名おり、熱心な参加者が多かった。

参加者からは、「一緒にパンフレットをもらい、下水道について知る機会になった」や「スタンプと同じマンホールを実際に探したり楽しめました」などの声上がり、スタンプラリーをきっかけに、マンホールや下水道に興味を持ってもらうことができた。

スタンプ用紙

本島19カ所、離島3カ所にスタンプを設置

本島エリア

離島エリア

スタンプ15個で、下水道ポロシャツをプレゼント！

15個クリア者

スタンプ1個でもらえるクリアファイル500枚が開始10日でほぼ配布終了！

オリジナルグッズ

全クリア者にはホンモノのマンホールをプレゼント！

全クリア者

全クリアのスタンプ用紙

エントリー事例の特徴

- ①離島を含め、県内21市町村と協力して開催することで、一部地域に限らず、**県全体の広報イベント**となり、**広く下水道をPR**することができた。
- ②「ホンモノのマンホールが当たる！？」と謳い文句をつけ、インパクトを与えることで、ラジオや情報サイトで取り扱われ、さらに参加者が増えるきっかけとなった。
- ③スタンプラリーで興味を持った参加者が同じく実施した浄化センター見学会や大型商業施設におけるイベントに参加するなど、3つのイベントを開催することで**相乗効果をもたらした**

付属資料の提出 あり ・ なし (どちらかに○)